

商号の変更に関するお知らせ

東海ゴム工業株式会社（本社：愛知県小牧市、代表取締役社長：西村義明）は、2014年5月26日開催の取締役会において、商号の変更について、下記の通り実施することを決議いたしましたので、お知らせいたします。なお、今回の商号変更実施につきましては、2014年6月19日に開催予定の第126期定時株主総会で定款の一部変更（商号の変更）が承認されることが条件となります。

商号変更に伴う株主の出資比率や事業内容の変更はございません。

<新商号及び新標章>

**住友理工株式会社**

（英文名称 Sumitomo Riko Company Limited）

<商号変更予定日>

2014年10月1日（水）

<商号変更の背景と目的>

当社は、1929年に蒲田善蔵が姓を冠した工業用コンベアベルト製造会社「蒲田調帯株式会社」の商号で創業し、1937年の株式会社住友電線製造所（現・住友電気工業株式会社）による資本参加を機に「東海護謨工業」に改称し、1961年に「護謨」の文字をカタカナとする現在の商号といたしました。

この間、当社は、コンベアベルトや高圧ホースなど産業用ゴム製品の製造で培った「高分子材料配合技術」を基礎とした製品開発を進め、1954年に開始した自動車用防振ゴムの量産により自動車分野に本格参入し、その後、鉄道用軌道の部材や橋梁用支承などのインフラ分野、事務機器向け精密部品などの情報通信分野へと事業領域を広げてまいりました。そして近年では、従来の事業をさらに強化するとともに、新分野における事業開発を積極的に進めており、前期の定時株主総会では、事業目的において「自動車」「ICT（情報通信）」「インフラ」「住環境」「医療・介護・健康」「資源・環境・エネルギー」の6分野で既存事業の強化と新製品の開発・販売を進めていくことを明らかにする定款変更を行っております。

また、当社は、創業初期より住友グループの一員として事業の着実な発展に努めてまいりました。「信用を重んじ確実を旨とし、浮利に趨らず」をはじめとする住友事業精神を忠実に守り、住友電気工業株式会社から移管した製品や技術もベースとしながら、現在では自動車用防振ゴムで世界シェアトップの地位を獲得するなど、全世界で24カ国に拠点を持つグローバル企業にまで発展を遂げてまいりました。

当社は、事業展開を持続するための経営指針として、2015年度を最終年度とする中期経営計画「2015年 TRI GROUP VISION」を策定し、以上に述べた6分野を重点分野と位置づけ、2020年代初頭に連結売上高を1兆円とする目標を掲げております。この実現に向けた新事業・新領域への進出を加速させる原動力とするため、当社は、信頼の厚い世界ブランドである「住友」と、高分子材料配合技術に代表される理化学・工学の技術を意味する「理工」を組み合わせた「住友理工株式会社」に商号を変更するものであります。



<東海ゴム工業株式会社の概要>

- 所在地 : 愛知県小牧市東三丁目1番地
- 事業内容 : 防振ゴム・ホース等の自動車用部品、事務機器向け精密部品等のIT関連製品、各種産業資材、医療・介護分野の製品の製造・販売
- 創業 : 1929年12月
- 資本金 : 121億45百万円
- 大株主 :
- | | |
|----------------------------|--------|
| 住友電気工業株式会社 (間接保有含む) | 50.66% |
| マルヤス工業株式会社 | 10.50% |
| 日本トラスティ・サービス信託銀行株式会社 (信託口) | 3.39% |
| フコク物産株式会社 | 2.62% |
- 代表者 : 代表取締役社長 西村義明
- 拠点 : 24カ国102拠点 (2014年4月1日現在)
- 従業員数 : 連結 22,546名 (2014年3月末現在)
- 売上高 : 連結 3,690億93百万円 (2014年3月期)

以上